

## 地域社会とのかかわり

日東電工グループでは、清掃活動や地域活動への積極的な参加など、地域の皆様とのよりよい関係づくりに努めています。また、災害への寄付活動や学生への教育支援など、社会的支援にも積極的に取り組んでいます。

### 「こども環境サミット2005」参加者が工場を見学

#### 豊橋事業所

2005年7月、国連環境計画(UNEP)主催の「こども環境サミット2005」が、愛知万博会場を主な会場として開催されました。「持続可能な社会に向けて行動を起こそう」という全体テーマのもと、世界55カ国の10歳から14歳までの子どもが、話し合いや自然観察、環境に配慮した工場の見学を行いました。その工場見学先の一つとして、日東電工豊橋事業所が選ばれ、サミットの参加メンバー31名の来訪を受けました。



こども環境サミット～豊橋事業所工場見学

### 心臓病の子どもたちへの看護を援助

#### 日東電工 東ヨーロッパ(スロバキア)

スロバキアでの税金関連の法律では、納税額の2%をある特定の組織に寄付することが定められています。日東電工 東ヨーロッパ(スロバキア)では、この寄付先を Foundation of the Children's Cardio Center\*に決定。納税額の2%にあたる18,623スロバキアコルナ(約7万円)の寄付を、子どもたちの病気に役立てています。

\* Foundation of the Children's Cardio Center: 特殊な看護を必要とする心臓病の子どもたちの看護の向上を援助するため、1993年6月29日にスロバキアで設立された財団。

### 周辺地域の清掃活動を実施

#### 日東電工グループ(各拠点)

日東電工グループでは、各事業所ごとに事業所周辺道路のゴミ拾いを定期的に行っています。

また、地域主催の清掃活動にも積極的に参加し、地域の一員として活動しています。



清掃活動

### ハリケーン・カトリーナ被害に対して義援金を寄付

#### アメリカエリア

2005年8月、アメリカ南東部を襲った大型ハリケーン・カトリーナの被害に対して、アメリカエリアでは積極的な募金活動を行い、会社と従業員合わせて33,667ドル(約391万円)を寄付しました。また、生活水などを作る高分子膜を製造しているハイドロノーティクス社(カリフォルニア)は、被災地の水不足を解決すべく浄水プラントで使用するろ過膜20,000ドル(約232万円)相当を寄付しました。

さらに、世界各地のグループ会社でも募金活動を行いました。

### 学生の工場見学・就業体験の受け入れ

#### 日東電工(各事業所)

日東電工の各事業所では、学生の見学や就業体験を受け入れています。就業体験では実際に学生の方々に作業服を着てもらい、一日から数日間、従業員と同様の仕事を体験していただいています。この経験が学生の方々の将来にとって有益なものであってほしいと思います。指導にあたっています。



中学生の工場見学

### クリスマスカードを電子化して、寄付

#### 日東ヨーロッパ

多くの言語が使用されるヨーロッパでは、ステーキホルダーとのコミュニケーションは他の地域以上に重要です。日東ヨーロッパでは、2005年のクリスマスカードを従来の紙から電子メールに変更し、お客様、お取引先様などに送りました。電子メール化にとまらないセーブされた10,000ユーロ(約146万円相当)は、赤十字に寄付しました。



赤十字への寄付